

近畿圏広域地方計画 構成(案)

第1部 近畿圏の特徴と課題

※ とりまとめに向け、今後整理

○長い年月にわたり多様な文化を創造し、今も創造し続けている歴史的風土
○多様で豊富な文化資産の蓄積(しかし、保全・活用が不十分)

○人口、経済力、都市基盤等の相当規模の集積
○個性ある都市・地域の存在
○多様で層の厚い産業の集積
○東京一極集中の是正

○完全24時間運用の国際空港の存在
○世界最高水準の大学・研究機関の集積
○アジアとの密度の濃い人的・経済的・文化的繋がり
○東アジアの台頭

○琵琶湖の水環境対策など環境面での先進的な取組み
○地球温暖化京都会議等の開催による環境先進地としての高い知名度
○高度な環境技術の集積(太陽電池等)
○地球温暖化などの地球規模での環境問題

○京阪神地域は狭い平野・盆地と山地が連続した地形(高次の都市機能と豊かな自然が近接)

○人口減少と急速な高齢化の進展
○地方部における医療体制の崩壊危機
○地方部における集落の維持機能の低下

○東南海・南海地震等の大規模地震への対応
○阪神・淡路大震災等の経験に伴う高い防災意識
○防災関連の国際機関・研究機関等の集積

第2部 近畿圏の目指す姿

1. 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域

○日本のアイデンティティの象徴圏域
○まちづくり、ものづくり、ひとづくりにおいて徹底して質にこだわり、新たな本物を創造する圏域
○各地に残る固有資源を核として個性あふれる地域づくりを行い、世界に誇れる歴史・文化圏域

2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核

○多彩な文化、暮らし、産業が息つき、生活の豊かさが実現された首都圏とは異なるもう一つの中心核
○日本経済を牽引する核となり、東京一極集中を是正する役割を担う圏域
○我が国における「文化首都」としての役割を担う圏域
○非常時に首都圏のバックアップを担う圏域

3. アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点

○京阪神都市圏が関西と周辺地域の人・モノ・情報・経済を牽引する圏域
○関西のエンジン産業として次世代産業やクリエイティブ産業を位置付け、関西の産業全体を牽引する圏域
○陸・海・空の人流・物流の総合交通ネットワークが確立されたアジア・ゲートウェイを担う圏域
○独創性豊かなイノベーションを生み出す圏域

4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域

○環境先進圏域
○地球環境問題の解決に向け、世界に貢献する圏域
○流域圏を一体として捉えて環境再生に取り組む圏域
○循環型社会を実現する圏域

5. 都市的魅力と自然的魅力を日常的に享受できる圏域

○多様なライフスタイルが選択できる圏域
○大都市部は、個性を活かしながら、近畿圏や周辺地域をリード
○地方部は、持続的に発展する広域的な生活圏を形成
○農山漁村は、持続可能な地域社会を形成

6. 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域

○近畿圏のどこに住んでも医療・教育・交通などの基本的な生活サービス機能を楽しむことができる圏域
○子育てなどの面で多様な主体が地域全体で社会を構築する圏域
○高齢者、障害者など多様な人々が自由に社会に参画し、生き生きと暮らせる圏域

7. 暮らし・産業を支える災害に強い安全・安心圏域

○自然災害に強く、安心して生活し産業活動ができる圏域
○防災・減災分野における研究・教育と実務を兼ね備えた、国内及びアジア・太平洋地域に貢献する国際防災拠点

第3部 近畿圏の目指す姿を実現するための戦略

※ 今後の議論を踏まえ、必要に応じ修正

1. 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域

(1)「本物」を産み育む共通理念の確立
(2)歴史・文化資産等の保全・継承・活用
(3)広域・国際観光の形成

2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核

(1)関西全体での総合的な経済力の向上
(2)情報発信力の強化
(3)「文化首都」としての取組の推進
(4)隣接する圏域との連携強化
(5)首都圏のバックアップ機能の確立
(6)首都機能移転候補地の環境整備

3. アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点

(1)次世代産業の育成
(2)産業拠点間、産業と大学間の連携
(3)大阪湾ベイエリアの機能強化と再配置
(4)アジア・ゲートウェイを担う陸海空の総合的な物流機能の強化
(5)創造性豊かな人材の育成・交流拠点の形成

4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域

(1)地球温暖化対策への対応
(2)都市環境の改善
(3)循環型社会の構築
(4)健全な流域圏と生態系の管理
(5)自然との共生の推進
(6)環境技術での世界貢献
(7)健全な土砂管理

5. 都市的魅力と自然的魅力を日常的に享受できる圏域

(1)ハード・ソフトによる都市と自然の魅力の結節
(2)大都市におけるビジネス機能や生活機能の中核的役割の確保
(3)地方都市における地域の拠点としての機能強化
(4)農山漁村における多面的機能の保持と地域活性化
(5)地域資源を活用した地域産業の形成・強化
(6)過疎地域における集落の維持・再生

6. 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域

(1)どこにいても医療・福祉等基本的な生活サービスを楽しむことができる体制の整備
(2)ユニバーサルデザインの社会空間の形成
(3)地域コミュニティの形成・維持・再生と安全・安心まちづくりの支援

7. 暮らし・産業を支える災害に強い安全・安心圏域

(1)防災・減災対策の推進
(2)アジア・太平洋地域の国際防災拠点の形成

第4部 具体的な取組

※ 議論するためのたたき台
※ 今後の議論を踏まえ、とりまとめ

1. 関西の「本物」を活かした地域づくり

2. 広域・国際観光圏域の形成による関西の魅力向上

3. ものづくり基盤を活かした次世代先端産業の育成

4. 大阪湾ベイエリアの機能向上

5. 陸・海・空の連携による国際物流体制の構築

6. 北東アジア・ロシアを経てヨーロッパを展望した関西と世界との連携強化

7. アジアとの日帰りビジネス圏の実現

8. 圏域が一体となったCO2の排出削減

9. 広域的な廃棄物対策による資源循環型社会の実現

10. 水と緑のネットワーク形成による生態系等の確保

11. 世界都市関西(京都・大阪・神戸)の活力向上

12. 活力ある地方都市と魅力ある農山漁村づくり

13. 多様な主体の広域的な連携による医療・生活環境の充実

14. 災害に強い安全・安心な圏域の実現

第5部 計画の効果的推進方策

※ 議論するためのたたき台
※ 今後の議論を踏まえ、とりまとめ

体制

意思決定機構

「新たな公」

フォローアップ

...